

③③ 登武那覇城跡



●登武那覇公園

【町指定史跡】

登武那覇城跡は、久米島町役場仲里庁舎の北方約 500mのところにあるトンナハ山（標高 120m）の南側斜面の中腹（上記写真前方斜面）にあります。城主は伊敷索[ちなは]按司の三男で笠末若茶良[がさしわかちやら]と称され、宇江城城や具志川城の城主と異母兄と言われています。この城は他の城が山の頂上や海に面した断崖上に築城されているのに対し、山の中腹の斜面に位置し、石垣も安山岩の大石と大石の間を小さな安山岩を野面積みにしてつないでいるだけです。城内からはグスク系土器片、類須恵器、青磁片等がわずかに確認されています。

笠末若茶良のことを歌ったオモロが数首あり、登武那覇城周辺の住民から慕われる人望厚い城主であったことがうかがえます。

